

2018 年度事業報告

I. こども・若者未来基金について

- ・ 2年目のこども・若者未来基金の寄付募集は、1,000万円の目標に対し、7,288,560円寄付が集まりました。昨年度に引き続き、基金運営委員会に参加している3つの生協組合員からの寄付は、6,220,760円と、寄付の大半を占めました。
- ・ 目標額1,000万円の内、ちばこどもおうえんだんが独自で集める募金の目標額を200万円としましたが、実績は1,050,800円と目標を大幅に下回りました。この基金を設立するにあたり、「広く県民や県内事業者の賛同を得て基金を醸成したい」という思いがありましたが、2年経過した現在、広く県民の参加による基金にはなっていないのが現状です。基金の必要性と共感を広げることが、次年度以降の課題です。
- ・ 5月には、2017年度におうえんをした子どもたちの声を聞く報告会を開催しました。
 日時：5月26日(土) 千葉県美術館 講堂 参加者 70名
 第1部 基調講演 藤井 康弘さん
 (元厚労省障害保健福祉部長・NPO法人東京養育家庭の会理事・里親)
 第2部 こども・若者未来基金2017年度助成を受けた子どもからの報告
- ・ 11、12月の寄付募集キャンペーンに向け、3生協での寄付集めを有効に行うため、4回生協実務者との打ち合わせを重ねました。その中での発案により、2回のこどもたちの現状や基金について知ってもらうためのシンポジウムを開催しました。
 第1回：9月30日(日) 幕張メッセ 参加者 92名
 基調講演 村木 厚子さん(津田塾大学客員教授、元厚生労働事務次官)
 第2回：10月31日(水) 柏京北ホール 参加者 75名
 基調講演 本間 稚啓さん(自立援助ホーム人力舎君津 ホーム長)
 小倉 淳さん(自立援助ホームみんなのいえ ホーム長)
- ・ 12人19件助成となりました。助成の内訳は、くらしスタート(1人暮らしを始めるにあたり必要な資金を援助)4件、資格サポート(資格取得に必要な資金の援助)3件、まなびサポート(入学や進級時の一時金)4件、くらしサポート(進学した子どもの月々の生活の援助)7件、入学金つなぎサポート1件です。
- ・ 今年度は、2017年度より支援の広がりがありました。詳細は、以下の通りです。

| メニュー | 2017年度 | | 2018年度 | |
|------------|--------|-----------|--------|-----------|
| | 件数 | 金額(円) | 件数 | 金額(円) |
| くらしスタート | 4 | 1,158,440 | 4 | 800,000 |
| 資格サポート | 3 | 900,000 | 3 | 900,000 |
| まなびサポート | 3 | 900,000 | 4 | 1,040,000 |
| くらしサポート | 2 | 2,160,000 | 7 | 5,160,000 |
| 入学金つなぎサポート | 0 | 0 | 1 | 500,000 |
| 合計 | 12 | 5,118,440 | 19 | 8,400,000 |

- ・助成決定のための面接は、基金運営委員会メンバーから選考委員を選出し、各回 5 名の選考委員が 12 月と 2019 年 1 月に 3 回の面接を行いました。選考委員の報告を受け、基金運営委員会にて助成を決定しました。
- ・昨年度パルシステム千葉の協力により、作成したこども・若者未来基金の DVD を、報告会の様子を反映しリニューアルしました。継続して、様々な場所で活用しています。
- ・各生協の組合員へ向け、寄付募集活動の報告と次年度以降の寄付募集につなげるために、統一の報告書を作成し、配布しました。また、シンポジウム等の告知のお知らせも統一のものを作成して活用しました。
- ・広くこの基金を活用してもらうため、千葉県児童福祉施設協議会の施設長会と、県内児童相談者所所長の集まる会議にて告知しました。また児童養護施設に、資料を送付しました。その結果、昨年度より応募者の広がりがありました。
- ・この基金では、金銭的支援と就労支援を車の両輪と考えていますが、2018 年度は昨年度に続き金銭支援のみ実施しました。就労支援、住居紹介については、関係機関につなぐなど行っていきます。

II. 貧困家庭など、家庭に課題を持つ子どもの支援事業

- ・生活クラブ風の村が千葉県より事業受託したアフターケア事業 CANS（ちばアフターケアネットワークステーション）の事務局の一部を、昨年度に続き受託しました。事務所当番と CANS が主催するアフターケア勉強会の運営の補助、CANS が講師を務める児童養護施設や地域での勉強会で使用する資料の作成等を主に担っています。
- ・ちばこどもおうえん広場 2018&オレンジリボンキャンペーンを、11 月 3 日に開催し 300 人の参加がありました。今年度は、例年とは会場が変更になったため、参加人数は少なかったのですが、アリーナでの発表は、会場との一体感がありました。
- ・ちば子ども虐待防止研究会（通称 JasPCAN ちば）（2017 年度虐待防止学会ちば大会実行委員を中心とする団体）に参加し、研究会主催の 1 月 20 日に子どもの虐待防止のために多職種のつながりが持てるよう「多職種連携ワークショップ」の開催に参画しました。参加者は、主催者も含め 85 人です。

III. 里親家庭支援について

《千葉県》

- ・千葉県より、千葉県里親大会の企画運営と県内 6 児童相談所管内における里親制度説明会の事業を受託しました。

【千葉県里親大会】

日時：10 月 14 日(日) 13：30～16：00

場所：千葉県教育会館

参加者：102 人

内容：

第 1 部 基調講演「ことばのチカラで自立する」講師 高取しづかさん（ことばキャンプ主宰）

第 2 部 里親体験談

- ・第1部は講演の途中にワークを取り入れ、参加者も実際にことばによる働きかけの大切さを実感しました。
- ・第2部の里親の体験談は、実際に里子との暮らしをイメージでき、参加者にも好評でした。また、当日参加した人のアンケートの中には、「里親になりたい」という声も見受けられました。

【里親制度説明会】

| 開催日 | 場所 | 管轄する児童相談所 | 参加者（人） |
|-------------|------------|-----------|--------|
| 11/18（日） | 聖愛乳児園 | 東上総 | 25 |
| 11/23（金・祝） | おんちょう園 | 市川 | 34 |
| 11/24（土） | 香取学園松葉寮 | 銚子 | 7 |
| 11/25（日） | 房総双葉学園 | 中央 | 53 |
| 12/2（日） | はぐくみの杜君津 | 君津 | 18 |
| 2019年3/2（土） | 流山生涯学習センター | 柏 | 88 |
| | | | 225 |

- ・千葉県里親制度説明会の開催に際しては、千葉県里親会と連携し開催しました。また日ごろ接することの少ない児童養護施設を会場としました。（一部例外あり）
 - ・「里親制度について知りたい」という漠然とした気持ちの参加者より、「里親になりたい」「里親について前向きに考えてみたい」と里親になることを積極的に考えている人の参加が多くみられました。
 - ・説明会終了後に、児童相談所につないだケースもありましたが、今年度の里親研修は終了しているとのことでした。今後の制度説明会の開催時期は里親研修の時期と連動できることが効果的と考えます。
- 《千葉市》
- ・千葉市主催の「千葉市里親委託等推進委員会」に参加し、千葉市における里親推進の状況や、関係機関や団体との情報共有を行いました。

IV. 特別養子縁組などについて

- ・里親制度説明会の中で、特別養子縁組についての質問がでることもあり、その際は制度についての説明などしてきましたが、こどもおうえんだんとして、他団体と連携し、普及啓発活動を実施することはできませんでした。今後も国の動向など踏まえ、こどもおうえんだんとしての取り組み方を検討していく必要があります。

V. 啓発・広報事業について

1. 啓発事業

- ・社会的養護下の子どもたちの自立について考えるきっかけとなり支援につながるよう、シンポジウムなどを開催しました。

第1回：9月30日（日）幕張メッセ 参加者 92名

基調講演 村木 厚子さん（津田塾大学客員教授、元厚生労働事務次官）

第2回：10月31日（水）柏京北ホール 参加者 75名

基調講演 本間 稚啓さん(自立援助ホーム人力舎君津 ホーム長)

小倉 淳さん(自立援助ホームみんなのいえ ホーム長)

・2回のシンポジウムの前に、ちいき新聞に取材記事が掲載されたことで、今までつながったことのない地域の方の参加が見受けられました。

・10月6日(土)生活クラブ虹の街主催「虹いろフェスタ」に出展、2月17日(日)には、コープみらい主催「きやっせ物産展 2019」に出展し、こども・若者未来基金のアピールを行いました。

・虐待対応の専門機関の職員同士がつながり、他の職種についての新たな気付きを得るための、「多職種連携WS」をちば子ども虐待防止研究会(通称JasPCAN ちば)の一員として開催しました。

2. 広報事業

・ニューズレターを、3回発行しました。

6月:総会報告 12月:こども・若者未来基金特集 3月:里親特集

・大きなイベントの告知等は、主にHPを活用しました。日常的な情報発信については、Facebookを活用しました。現在Facebookで429「いいね」となっています。

VI. 調査研究活動事業

・社会的養護や里親制度の課題やニーズについての調査研究は、今年度実施しませんでした。

VII. その他

・児童養護施設でのプログラム実施を想定し、「ことばキャンプ(*1)」のインストラクター養成講座に2名が参加し、インストラクターの認定を受けました。

・千葉県児童福祉施設協議会の事務局の一部受託をしました。招待関係の告知や、会議録等の作成が主な役割です。

・10月13日(土)に生活クラブ千葉グループ主催で開催した「『わくわくエンジン(*2)』をかける」に協賛しました。

・「(仮称)わくわくエンジン千葉の会」の準備会、幹事会の事務局を、暫定的に引き受けました。

・12月1日(土)・2日(日)に開催された、シェアスル主催「私たちは『買われた』展」in千葉に協賛しました。

*1:子どもキャンプの理念は「ことばのチカラで自立しよう」

こどもたちの自尊感情を大切にしながら、7つのチカラ(度胸力・論理力・理解力・応答力・語彙力・説得力・プレゼン力)のトレーニングで聞くチカラ、話すチカラ、考えるチカラの基礎を作っていくプログラムです。

*2:自分のわくわくするものをみつけ、やる気をひきだし夢や希望の実現に向けていくプログラム。こどもたち、そしてプログラムを導く大人も輝かせ、人とつながり、地域づくりにつながります。

VIII. 組織運営

1. 運営体制

・事業を円滑にすすめるために、以下の通り理事会等を開催しました。

理事会

4月24日・6月18日・10月22日・3月1日

こども・若者未来基金運営委員会

6月13日・10月11日・12月12日・2019年1月28日・3月18日

・2018年度認定NPOを目指しましたが、実現できませんでした。2017年度2018年度を認定期間とし、2019年度に再度認定NPO取得を目指します。

2. 会員拡大について

・団体リーフレットをリニューアルし、年間を通じて会員加入を呼びかけました。特に、おうえん会員獲得に重点をおき呼びかけました。

・その結果、来年度認定NPOを目指すのに必要なおうえん会員と寄付を集めることができました。

・認定NPO取得に必要な「3,000円以上の寄付者(おうえん会員含む)が、2事業年度で200人以上」という基準に対し、2017、18年度の寄付者数は237です。

【会員数】

| | | 目標 | | 実績 | | | |
|--------|----|--------|------|----------------|------|--------|------|
| | | | | 2018年度会費納入済み会員 | | 会員総数 | |
| | | 人数・団体数 | 口数 | 人数・団体数 | 口数 | 人数・団体数 | 口数 |
| 運営会員 | 個人 | 14人 | 14口 | 15人 | 21口 | 16人 | 21口 |
| | 団体 | 4団体 | 34口 | 4団体 | 53口 | 4団体 | 53口 |
| おうえん会員 | 個人 | 120人 | 120口 | 117人 | 165口 | 144人 | 165口 |
| | 団体 | 15団体 | 29口 | 8団体 | 10口 | 10団体 | 10口 |

*定款第3章会員第9条(3)に「継続して2年以上会費を滞納したときに、会員の資格を喪失する」とある。実績の会員総数には2018年度会費未納者も含まれる。2018年度決算報告の活動計算書「受取会費」は、「2018年度会費納入済み会員」数による。

3. 2018年度事務局体制

・事務局長(常勤)1名 事務局(非常勤)3名

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び予定人数 |
|-----------------------------|---|--|----------------------|--------|-------------------------------------|
| 自立支援事業 | こども・若者未来基金 2017 報告会 | 5月26日(土) 14:30~16:30 | 千葉市美術館講堂 | 4人 | 社会的養護の子ども の自立支援に関心のある不特定多数70人 |
| | 社会的養護の子ども の暮らしと自立を考える シンポジウム@千葉 | 9月30日(日) 10:00~12:00 | 幕張メッセ | 4人 | 社会的養護の子ども の自立支援に関心のある不特定多数92人 |
| | 社会的養護の子ども の暮らしと自立を考える シンポジウム@柏 | 10月31日(水) 10:30~12:30 | 柏京北ホール | 3人 | 社会的養護の子ども の自立支援に関心のある不特定多数75人 |
| 貧困家庭・要支援 家庭の子ども の支援事業 | ちばこどもおうえん広 場 2018&オレンジリボ ンキャンペーン | 11月3日(土・祝) 10:00~16:00 | きぼーる こども交 流館ほか | 4人 | 子どもと子どもの支 援に興味関心のある 不特定多数300人 |
| | 子ども虐待防止のため の多職種連携ワークシ ョップ(ちば子ども虐 待防止研修会主催) | 2019年1月20日 13:30~16:30 | 幕張メッセ | 3人 | 子ども虐待防止に興 味のある不特定多数 90人 |
| 里親家庭 支援事業 | 千葉県里親大会 | 10月14日(日) 13:30~16:00 | 千葉市教 育会館 | 5人 | 里親制度に興味のあ る不特定の参加希望 者102人 |
| | 里親制度に説明会の開 催 | 11/18、11/23、 11/24、11/25、12/2 2019年3/2 | 県内児童 養護施設 等 | 5人 | 里親制度や支援に興 味のある不特定の参 加希望者225人 |
| 啓発・広報 事業・政策 提案 | SNS や HP を活用した情 報発信 | 随時 | 法人事務 所内 | 1人 | 不特定多数 |
| | ニュースレターの発行 | 6月、12月、 2019年3月 | 法人事務 所内 | 3人 | 不特定多数 |